

研究タイトル：

e-操船支援システムの開発



氏名：高岡 俊輔 / TAKAOKA Shunsuke E-mail: takaoka@ship.yuge.ac.jp

職名：嘱託教授 学位：博士(工学)

所属学会・協会：日本航海学会, 航法研究会

キーワード：操船支援, 環境対応船舶, 航海計器

技術相談

提供可能技術：

- ・航海機器のシステム開発
- ・船体運動の精密測定
- ・環境対応型船舶の開発

研究内容： e-操船支援システムの開発

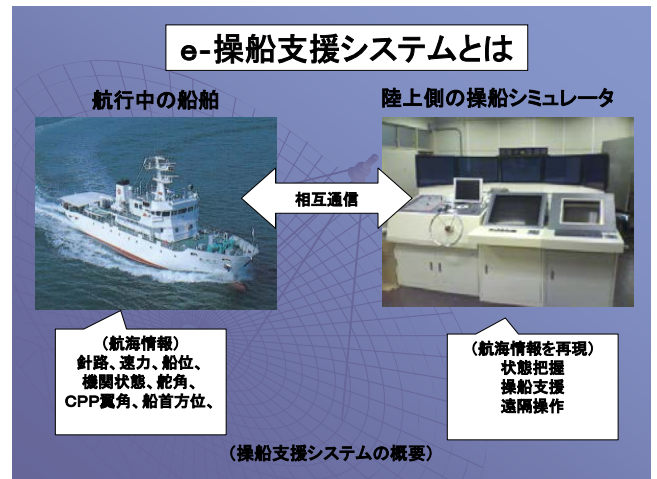
本システムは、実際に航行している船舶の航海情報(針路、速力、機関状態等)を陸上の操船シミュレータに通信回線を通して伝送し、船舶の航海状態を表現するシステムである。本システムが実現すれば、操船の支援が陸上からできるだけだけでなく、陸上からの遠隔操船も可能となり航海の安全性が高まると考えられる。

本システムの生み出す、教育上の効果を以下に示す

- (1) 5商船高専でネットワークが組めるため、共通の実験実習が行える。
- (2) 各商船高専の練習船の実習状況が陸上で経験できる。
- (3) 陸上の実験実習に現実味がでる。
- (4) 各商船高専の設備の有効活用ができる。

本システムの社会的効果を以下に示す

- (1) 陸上から、航行中の船舶に対して、適切な航海支援が行える。
- (2) 狭水道の航路管制が容易となる。
- (3) 緊急避難的に、船舶の遠隔操船が行える。



提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	
操船シミュレーター	CAD Center
レーダー/ARPA シミュレータ	Tranzas
各種航海機器	トキメック、古野電気、JRC